

資料 1 用語の定義

本要求水準書において使用する用語の定義は、次の通りとする。

- (1) 「運用開始」とは、本施設の供用を開始することをいう。
- (2) 「法令」とは、法律・政令・省令・条例・規則、若しくは通達・行政指導・ガイドライン、又は裁判所の判決・決定・命令・仲裁判断、その他公的機関の定める一切の規程・判断・措置等をいう。
- (3) 「本敷地」とは、本事業において整備する（仮称）八尾中学校の敷地であり、「資料 14 事業範囲図及び敷地現況図」に示す「学校敷地」をいう。
- (4) 「開発区域」とは、本事業において取得する開発許可の範囲であり、「資料 14 事業範囲図及び敷地現況図」に示す「開発区域」をいう（平成 30 年 4 月ごろに開発許可取得見込み）。
- (5) 「開発変更可能範囲」とは、開発区域を拡大して整備することができる範囲であり、「資料 14 事業範囲図及び敷地現況図」に示す「開発変更可能範囲」をいう。
- (6) 「地域開放」とは、学校教育に支障のない範囲で、本施設の一部を地域住民の利用に供することをいう。本施設では、夜間（午後 6 時から午後 10 時）に体育館を開放する予定としており、対象諸室は「資料 8 必要諸室リスト」によること。
- (7) 「不可抗力」とは、暴風、豪雨、洪水、高潮、雷、地滑り、落盤、地震その他の自然災害、又は戦争、テロリズム、放射能汚染、火災、騒擾、騒乱、暴動その他の人為的な現象のうち、通常の見込み可能な範囲外のもの（入札説明書及び設計図書で水準が定められている場合にはその水準を超えるものに限る。）などであって、本市又は事業者のいずれの責めにも帰さないものをいう。ただし、法令の変更は、「不可抗力」に含まれない。
- (8) 「設計図書」とは、要求水準書に基づき、事業者が作成する基本設計図書、実施設計図書その他本施設等の設計に係る一切の書類をいう。
- (9) 「施工計画書」とは、事業者が作成する本施設等の建設工事等に係る施工手順及び施工方法を記載した書類をいう。
- (10) 「完成図書」とは、事業者が作成する本施設等の竣工に伴う一切の書類をいう。
- (11) 「点検」とは、建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭その他の異常の有無を調査することをいい、保守又はその他の措置が必要か否かの判断を行うことをいう。
- (12) 「日常点検」とは、目視、聴音、触接等の簡易な方法により、巡回しながら日常的に行う点検をいう。
- (13) 「定期点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が定期的に行う点検をいい、性能点検、月例点検、シーズンイン点検、シーズンオン点検及びシーズンオフ点検を含めていう。
- (14) 「保守」とは、点検の結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業をいう。
- (15) 「修繕」とは、建築物等の劣化した部分若しくは部材又は低下した性能若しくは機能を、

原状、又は実用上支障のない状態まで回復させることをいう。「計画修繕」とは、修繕のうち、大規模修繕を除き、耐用年数や劣化状況等から判断して長期的に計画して行う修繕であり、事業者が作成した長期修繕（保全）計画に基づき行う修繕をいう。「経常修繕」とは、突発的な破損や不具合等により必要な修繕をいう。

- (16) 「更新」とは、劣化した部位・部材や機器等を新しいものに取り替えることをいう。
- (17) 「清掃」とは、汚れを除去すること及び汚れを予防することにより仕上げ材等を保護し、快適な環境を保つための作業をいう。
- (18) 「警備」とは、本施設内における盗難等の事故の発生を警戒し、防止する業務をいう。
- (19) 「利用者」とは、本施設を利用する生徒・教職員・保護者・その他の来校者、従事者等の関係者をいう。